マネジメントチーム News

令和８年１０月号

地域会全体会について

今回は、9月29日（水）に開催いたしました地域会全体会について報告します。

●行政説明 ・ アルプスより情報提供

○発達障害地域体制整備に関する県の動向について

香川県健康福祉部障害福祉課　笠井　一志　氏

◆発達障害者支援体制整備事業について

「地域の課題を地域で支援する体制の整備」に向け、平成 26 年度から地域支援機能が強化されることとなり、香川県では「マネジメントチーム」が形成された。こうした流れは、改正発達障害者支援法に明文化された「地域の身近な場所で受けられる支援」の概念に繋がっている。

◆県の動向（一部抜粋）

・強度行動障害児者支援：強度行動障害児者を支援する方へ向けて、基本的な障害特性や支援方法が学べる基礎・実践研修を実施。
・障害児等療育支援事業：在宅の障害児や発達の気になる児童、その保護者の生活を支えるため、身近な地域で療育指導を受けられるよう、県下、地域ごとに８事業所へ委託して実施。
・家族支援及び家族同士で支援できる体制を作るための事業を、NPO 法人ペアレントメンターかがわに委託して実施。
・市町における発達障害者支援体制状況調査の結果（一部）を県障害福祉課 HP に掲載。

○アルプスより情報提供（一部抜粋）

・ICD-１１（WHO＝世界保健機関が定めた国際疾病分類）が、日本では令和９年１月から施行、発達障害に関する病名や分類が変更される。

代表的な発達障害

ICD-10	ICD-11
広汎性発達障害	自閉スペクトラム症
注意欠陥多動性障害	注意欠如多動症
学習障害	発達性学習症
発達性協調運動障害	発達性協調運動症

・外国につながりのある発達障害児者とその家族への支援に関する情報提供
・災害時の発達障害児者支援に関する情報提供

●情報交換会

普段支援でかかわっている対象者の年齢層でグループを分けて情報交換会を実施しました（構成：メンバー４～５名+サポート委員 or 地マネ１名）。今回のテーマは「**所属機関内/外での連携**」でした。

参加された方々からは、他圏域や他職種の方と情報交換ができてよかった、各業種の悩みやよさを共有できてよかった等の感想をいただいています。以下、グループで出た内容を抜粋して紹介します。

◆内部の連携について

・管理職だけのやり取りや情報共有になってしまい、職員全体に共有ができていないことがある。
・外部との連携を考える前に、まずは内部でケースの共有ができているのか、担当者だけが抱え込まないように、組織全体として対応等について考える場を設けることができているか改めて振り返る必要がある。
・職場内で考えて実践した結果、それでも対応が分からない場合は、外部の機関に来ていただき、対象者へのかかわりについて助言をもらうようにしている。外部機関に入ってもらうことで、新しい視点の獲得や、担当者の考えの整理に繋がる。
・所属機関内で毎日ケース検討の場を設けているとの機関もあるが、自機関では毎日時間を取ることは難しい。自機関での連携について見直してみようと思った。

◆外部との連携について

・外部との連携のために、自分が地域の会や研修等へ参加し、支援者と顔の見える関係をつくることから始めている。
・連携先として、どのような機関があるか知るために、交流の場や説明会等へ参加し、提案できる社会資源を増やせるように心がけている。
・最近は教育・福祉の連携が取りやすくなってきている。以前共有した児童に関して、他児童の相談をした際に現在の様子を聞いて確認を行う等、継続した連携が取れるように工夫している。

今回参加されなかったメンバーの方も、またのご参加をお待ちしております。